授業科目　アスレティックトレーナー論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	スポ
柵木　聖也	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

【概要・一般目標：GIO】

アスレティックトレーナーを目指す学生にとって、最初に必ず理解すべき基本的事項（業務内容、他のチームスタッフとの連携協力、組織運営と管理、倫理規定等）について理解する。

【学習目標】

1．日体協公認スポーツ指導者制度における公認アスレティックトレーナー養成事業の歴史的背景やその設立趣旨、位置づけについて学ぶ。
2．諸外国のトレーナーの業務や資格制度、内容について学ぶ。
3．我が国におけるアスレティックトレーナーの担うべき任務とその役割について学ぶ。
4．他のチームスタッフとの連携・協力の意義と重要性について学ぶ。
5．スポーツ組織の運営方法とその組織内での健康管理に関する各種データの収集とその管理について学ぶ。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスレティックトレーナーとは（1）　日体協における養成事業の概要		
2	アスレティックトレーナーとは（2）　我が国のアスレティックトレーナーの歴史的背景		
3	アスレティックトレーナーとは（3）　トレーナーの起源と諸外国の実情との比較		
4	アスレティックトレーナーの業務（1）　アスレティックトレーナーの任務、役割		
5	アスレティックトレーナーの業務（2）　アスレティックトレーナーの具体的業務内容		
6	チームスタッフとの連携・協力（1）　サポートチームにおけるメディカルスタッフ		
7	チームスタッフとの連携・協力（2）　コーチ、ドクターの役割とその連携・協力		
8	チームスタッフとの連携・協力（3）　その他のチームスタッフとの連携・協力		
9	組織運営と管理（1）　スポーツ組織全体に対する理解		
10	組織運営と管理（2）　アスレティックトレーナーの組織・体制づくりとその運営		
11	組織運営と管理（3）　記録およびデータ採取の必要性とその方法		
12	アスレティックトレーナーと倫理（1）　社会全体を支える秩序		
13	アスレティックトレーナーと倫理（2）　アスレティックトレーナーの社会的立場と貢献		
14	アスレティックトレーナーと倫理（3）　アスレティックトレーナーに求められる倫理観		
15	まとめ		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	公認アスレティックトレーナー　専門科目テキスト1	（財）日本体育協会	（財）日本体育協会	
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

レポートを課す予定。

【履修上の留意点】